

上山中学校

コミュニティ スクール通信 Vol1

令和4年6月発行
第1回学校運営協議会
上山中学校 CS 事務員
南・須田

コミュニティスクール (CS) とは

CSとは学校運営協議会を設置した学校のことです。令和4年度から新潟市の全小中学校で導入されました。学校・保護者・地域が一体となり未来を担う豊かな子どもの成長を「地域総がかり」で支える仕組みであり、「地域とともにある学校づくり」を進めて行くものです。

第1回学校運営協議会 (CS会議) 開催

令和4年6月3日(金) 14:30から上山中学校で開催されました。

《 第1部 》 授業参観 (6限)



校長先生・教頭先生の案内で、各教室の授業の様子を見て頂きました。教室に入ったりしながら熱心に参観されていました。

廊下に貼ってある生徒たちが書いた自己紹介などを見て感心されていました。



《 第2部 》 協議会

○ 校長挨拶

上山中学校は創立45年目を迎え、生徒数800名を超える市内有数の大規模校となりました。

今年度は、上山中学校の「生活のきまり」について、生徒会による見直しを行います。それを通して生徒が自ら考え、判断して、行動できる力を育ててほしいです。生徒の中で「あけびお (挨拶・けじめ・美化・思いやり)」が定着していることは喜ばしいことです。しかし、これをするのがゴールではなく、なぜ「あけびお」なのか、これを基本にどんな上山中学校を創りたいのかを主体的に考えられる生徒が育つ環境を整えて行きます。

中学校の教育は、小学校で6年間学んだことや経験したことがベースとなっています。だからこそ小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通しながら教育活動を行っていくことを大切にします。

○ CSメンバー紹介

	委員名	所属・役職
会 長	山崎 光子	新潟県人権擁護連合会会長
副会長	朝倉 奏	金宝寺住職（上山中学校卒業生）
委 員	小野 照子	新潟市議会議員
委 員	山岸 希	地区民生・児童委員協議会会長
委 員	水品 明美	上山コミュニティハウス職員（元 PTA 役員）
委 員	藤田 松夫	上山校区コミュニティ協議会会長
委 員	阿部 洋一	鳥屋野校区コミュニティ協議会会長
委 員	吉原 幹治	上山中学校 PTA 会長
委 員	白石 誠史郎	上山中学校校長
委 員	齋藤 まゆみ	上山中学校教頭
委 員	永井 歆	上山中学校教頭
委 員	伊與部 直哉	上山中学校教務主任
委 員	渡辺 学	上山中学校地域連携担当
委 員	植木 克巳	上山中学校事務職員
事務員	南 恵津子	上山中学校地域教育コーディネーター
事務員	須田 恵美子	上山中学校地域教育コーディネーター

○ 学校運営の基本方針

☆ 教育目標

自主

協調

創造

目指す学校像

みんなが安心して生活し
生き生きと学ぶ学校
～ 合言葉は
「さわやか」～

目指す生徒像

- ・対話的に学習し、学ぶ喜びを実感する生徒
- ・互いを思いやり、協力して活動に取り組む生徒
- ・より良い生活習慣を考え、体力と健康の向上に努力する生徒

目指す教職員像

- ・生徒一人一人を大切にする教職員
- ・生徒と共に成長しようとする教職員
- ・授業で勝負できる教職員
- ・妥協しない教職員
- ・社会人として信頼される教職員

☆ 協議内容 《 委員 — 学校 》

(委員)

これまで家庭で子どもを褒めて育てて自己肯定感が育つようにして来たが社会に出た時には褒められることは少なく、打ちのめされることも多い。
そんな中でも自己肯定感を保って生きて行けるようにするにはどうしたら良いか？

(学校)

高い志を持つことが大切で、精一杯やって結果が出なくてもその努力の過程を大事にする。
過程を振り返ることで、たとえ成果が現れなくても、そこには自らの成長があるはず。

いろいろな考え方の保護者がいるので、先生にいろいろなことを言ってくる方もいると思う。
保護者とのコミュニケーションの取り方で苦労することもあると思う。
保護者と学校の方針が合っていない場合、学校はどう対応するのか？

学級担任で対応が難しいことは、学年主任・教頭・校長も加わり教育方針を基に学校の考え方や姿勢を伝え、学級担任は子どもに全力を注げる体制をつくる。

学校の方針は良く分かったが、家庭の教育力が低下しているのではないかと思う。
それを高めながら、学校と地域、みんなで育てて行きたい。
何か問題があった時、子ども以上に保護者の方が些細なことで傷ついたり問題視してしまう。
小学校から中学校へ進むと徐々に周りや学校とのコミュニケーションが薄れてしまうが、
9年間で一貫して保護者も育てて行けると良いと思う。

教職員の研修だけでなく、保護者との話し合いの場や保護者向けの学べる機会があると良い。お互い楽しい時間を過ごせるイベントも良いと思う。
学校と一緒に子どもを育てる為の、共通理解をどう積み上げるかが大切。
学校にご意見・ご要望があればいつでも相談して欲しい。

困ったことがあれば学校だけで対応しようとせず、地域にも相談して欲しい。
地域にできることがあれば協力する。

○ 地域と学校パートナーシップ事業報告

☆ 令和3年度実施

- ・コロナ禍で地域との交流が無かった為、例年、年2回発行のコーディネーターだよりを5回発行したり、学校ホームページにも掲載したりして、学校の様子をお知らせしました。
- ・緑化ボランティアを募集し活動をしました。
- ・総合学習では多くの事業所・学校に受け入れて頂きました。
- ・学びの拠点づくりでは、上山小学校・鳥屋野小学校のコーディネーターと公民館との共催で「竹細工作り」を実施しました。

☆ 令和4年度計画

- ・昨年同様に実施し、学校ホームページをさらに活用して行きます。
- ・学びの拠点づくりでは「鳥屋野の防災」について実施の予定です。

○ 連絡

第2回 学校運営協議会は9月6日（火）の予定です。

体育祭の練習の様子を参観して頂きたいと思います。

（※ 最初の年間計画から変更になりました。）